

## 授業改善推進プラン

### 【教科名：国語】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んでいる。ただ、個人で考えたことに自信がもてず、表現に躊躇する生徒が多い。</li> <li>・標準学力調査（NRT）では、全体的に全国平均を下回っているものが多く、特に「情報を選び構成を考えて書く」「目的に応じて工夫して書く」「考えや感想をまとめ伝え合う」など、「書くこと」の正答率が大きく下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章から情報をつかみよる力の向上。</li> <li>・目的に応じて「書く」という力の向上。</li> <li>・お互いに意見や感想を伝え合い、考えを深め広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「描写」に着目し、文章と文章のつながりをつかむことができるような授業を行う。</li> <li>・筆者に対する自分の考えなど、自分の意見を表現する機会を増やす。</li> <li>・話し合い活動や、発表機会を多く設け、交流後の変化に気づかせるようにする。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んでいる。全体で考えたり発言したり質問したり活発に授業を行うことができる。</li> <li>・標準学力調査（NRT）では、特に「目的に応じて話の内容を捉える」という項目において全国平均を下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的な意見ではなく、多面的に考えていく力の向上。</li> <li>・目的に沿って内容を捉えていく力の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動などで意見を交流する機会を増やす。</li> <li>・文章や、話の中で伝えたいことはなにか。目的に沿って話を聞くような活動を取り入れる。</li> <li>・単元の最後に意見文など自分の考えを目的に沿って書く活動を取り入れる。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前向きに課題や意見交流、各活動に取り組む生徒たちである。</li> <li>・標準学力調査（NRT）では、特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の結果が全国平均を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字等の語彙力の向上。</li> <li>・批評的な視点をもって作品を読む力の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して漢字テストや語句テストを行っていく。</li> <li>・文章についての自分の意見を表現できるようなアプローチをしていく。</li> <li>・考えが伝わるように、「推敲」する時間を多くとる。</li> <li>・個で考えたことに対して全体で意見を交流する機会を増やす。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力検査でもあるように漢字の書き・文章の読み取りに課題がある。</li> <li>・文章の中から読み取る教科特有の見方・考え方に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを恐れずに課題に取り組む力の向上。</li> <li>・自分が体験したことのないことを考える力の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯単元として漢字テストを行い、間違えた漢字の書き取りを行うことで、間違いから学ぶ姿勢を身に付けさせる。</li> <li>・登場人物の心情の読み取りを通して、体験したことのない気持ちを想像させる。</li> </ul>

### 【教科名：社会】

	現状分析	課題	具体的な方策
--	------	----	--------

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力検査では平均を大きく下回っており、社会科という以前に問題文等を理解する言葉の力が不足している。</li> <li>「覚えるまで頑張り続ける」という姿勢がまだ身に付いていない生徒が多い。</li> <li>授業に前向きに取り組んでいるが、発言は誤答を恐れたり、周りの意見に影響されることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文が理解できていない生徒が多いため、ベースとなる国語力、言葉の力の不足を解消していく。</li> <li>分かっているつもり、できているつもりでいるが、実際には身に付いていないケースが多いため、その差を埋めていく。</li> <li>家庭学習の習慣化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書全文読みや、穴埋めノートなどを活用し、漢字、言葉の力を育成する。</li> <li>毎回の授業での復習小テストを継続し、家庭学習の習慣化と基礎知識向上を図る。</li> <li>白地図テストなどは合格するまで放課後補習を行う。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力検査では地理は平均を上回り、歴史は大きく下回っており、難しい歴史の語句に対応できていない。</li> <li>授業態度は真面目で、誤答を恐れず、積極的に発言することもできる。</li> <li>何事もめんどろがり自主的に取り組めず、集中も持続しない生徒もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識がぶつ切りになっているため、歴史を流れでとらえるなど、点から線へと知識を理解に発展させていく。</li> <li>常に自分で考え、自分なりの答えを導き出そうと粘り強く思考する姿勢の育成。</li> <li>ベースとなる言葉の力（漢字・語彙等）を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象の背景を考えさせ、原因や理由をつながり理解できるように発問を工夫する。</li> <li>班での意見交換などから、他者の考えを聴くことで多様な発想や思考方法を学び合う場をより多く設ける。</li> <li>毎回の授業での復習小テストを継続し、家庭学習の習慣化と基礎知識向上を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に集中して取り組み、ノートも自分で工夫できる生徒が増えている。</li> <li>標準学力検査では、思考力の向上が見られ、苦手の歴史も成績が向上している。</li> <li>授業で、誤答を恐れず積極的に発言している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の習慣化。</li> <li>ベースとなる言葉の力（漢字・語彙等）を向上させる。</li> <li>身につけた知識を活用する思考力や、関連させて表現する力の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象の背景を考えさせ、原因や理由をつながり理解できるように発問を工夫する。</li> <li>班での意見交換などから、他者の考えを聴くことで多様な発想や思考方法を学び合う場をより多く設ける。</li> <li>毎回の授業での復習小テストを継続し、家庭学習の習慣化と基礎知識向上を図る。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中して授業に取り組める時間が増えてきている。</li> <li>社会問題を身近な問題に置き換えて考えることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所や名称を覚えること。</li> <li>社会科で学習する漢字の学習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業でアウトプットする機会を増やす。</li> <li>カテ学における学習方法の指導の改善を図る。</li> <li>当該生徒にとって覚えやすい方法を模索する。</li> </ul>

【教科名：数学】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に積極的に授業に取り組んでいるが、既習内容も含め、基礎・基本の定着に課題がある。</li> <li>標準学力検査では、内容別、観点別ともに全項目で全国正答率を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校内容も含め、基礎・基本のさらなる定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種テストを通して、基礎・基本の定着度を把握する。</li> <li>放課後の補習教室を定期的実施する。</li> <li>授業中の学び合いを充実させ、学習意欲の向上を図る。</li> </ul>

2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に積極的に授業に取り組んでいるが、既習内容も含め、基礎・基本の定着に課題がある。</li> <li>標準学力検査では、内容別、観点別ともに全項目で全国正答率を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の内容も含め、基礎・基本のさらなる定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種テストを通して、基礎・基本の定着度を把握する。</li> <li>放課後の補習教室を定期的実施する。</li> <li>授業中の学び合いを充実させ、学習意欲の向上を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に積極的に授業に取り組んでいる。</li> <li>標準学力検査では、内容別、観点別ともに全項目で全国正答率を下回っている。</li> <li>全国学力調査では「データの活用」以外の領域で全国正答率を下回っている。また「思考・判断・表現」の観点では全国正答率を上回っているが、「知識・技能」では全国正答率を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考える力は徐々に身に付いてきているが、既習内容の定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種テストを通して、基礎・基本の定着度を把握する。</li> <li>単元ごとに既習内容の復習をしながら授業を行う。</li> <li>学力を定着させるため、放課後の居残り学習や家庭学習を促す。</li> <li>学び合い学習を充実させ、助け合うことで理解を深めさせる。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形に対する苦手意識を克服してきている。</li> <li>空間把握力が徐々に向上してきている様子が見られる。</li> <li>計算や作図の課題に対して粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きさや形を踏まえて図形を書き写すこと。</li> <li>比の計算や考え方、概念的理解。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期段階においては方眼紙等を用いて作図の補助を行い、徐々に方眼の補助を外していく。</li> <li>繰り返し学習を行い、概念的理解や立式方法の定着を図る。</li> </ul>

【教科名：理科】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①標準学力検査 観点別・単元別ともに全項目で平均以下である。</li> <li>②授業評価アンケート 家で家庭学習をしたり、その日に復習したりする生徒が少ない。</li> <li>③授業・定期考査 課題を解決しようと主体的に取り組む生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用語や実験器具など、基本的な知識・技能の定着。</li> <li>予習や復習など、自分の状況に応じて家庭学習を行う力の育成。</li> <li>グループでの学習で、意見を交流する機会の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すららネットを活用し、基礎的な用語の理解に向けて繰り返し学習を実施する。</li> <li>すららネットで家庭学習の状況を把握しながら、個に応じた助言を行う。</li> <li>話し合い方について助言したり、振り返り活動を活用したりして内容を充実させる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①標準学力検査（NRT） 観点別では全項目で平均以下、単元別では身近な物理現象は平均以上である。</li> <li>②授業評価アンケート 意見を交流する時間が不十分、意見が深まる経験が少ないと考える生徒がいる。</li> <li>③授業・定期考査 意欲的な取り組みが見られるが、応用的な力が不足し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科で学ぶ知識や技能と、日常生活での繋がりを意識した授業づくり。更なる主体性の向上。</li> <li>意見を交流する機会や、考える時間の確保と、話し合い活動の更なる充実。</li> <li>用語や実験器具など、基本的な知識・技能の定着。発展的な課題の提示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活での利用や繋がりなどは、すべての授業で例を示し、応用力を伸ばす。</li> <li>話し合い方について助言したり、振り返り活動を活用したりして内容を充実させる。</li> <li>すららネットを活用し、基礎的な用語の理解に向けて繰り返し学習を実施する。</li> </ul>

	ている。		
3年	<p>①標準学力検査 全項目で平均以下である。特に化学分野に関する理解が不十分である。</p> <p>②授業評価アンケート 振り返りが、自分の学習のプラスになると感じている生徒が少ない。</p> <p>③全国学力調査 すべての項目で全国平均以下である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元素記号や化学変化を化学反応式で表すなど、基本的な知識・理解の向上。</li> <li>・振り返りの方法やタイミングの改善。学習にプラスになっているという実感を持てるような工夫。</li> <li>・理科で学ぶ知識や技能と、日常生活での繋がりを意識した授業づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すららネットを活用し、基礎的な用語の理解に向けて繰り返し学習を実施する。</li> <li>・振り返りの際、事前と事後における変化を自身で気づけるようなものにする。</li> <li>・日常生活での利用や繋がりなどは、すべての授業で例を示し、応用力を伸ばす。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科の授業内容全般に興味をもち、集中して話を聞いている。</li> <li>・学習内容を、自分の言葉で表現することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科で扱う漢字の習得。</li> <li>・概念的理解が求められる内容の定着。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者のペースに合わせ、繰り返し学習を行ったり、異なる角度からアプローチを行ったりする。</li> </ul>

【教科名：音楽】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱は元気よく意欲的にできるが、器楽に対し苦手意識を持つ生徒が見受けられる。</li> <li>・内容理解の定着に課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動、ペアワークの充実。</li> <li>・定着を図るための振り返りの充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動やペアワークを取り入れ、互いに学び合ったり教えあったりできる関係を作り、クラス全体で授業に臨めるようにしていく。</li> <li>・前時の復習を導入時に行い、理解の定着を図る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや考えたことなどを言葉や文章にして素直に表現することができる。</li> <li>・音楽に対する興味関心が強く、積極的に学習に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着。技能の向上。</li> <li>・グループ活動を充実させるための課題設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高い課題を設定して、知識・技能を高め、深い学びにつなげていく。</li> <li>・意見交流の機会を増やし、多角的に音楽を学ぶ機会を作る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動で、積極的に協力したり教え合ったりできる。</li> <li>・内容理解の定着に課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業理解度の把握。</li> <li>・定着を図るための振り返りの充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業内容の振り返りをさらに充実させ内容理解の定着をしていく。</li> </ul>

【教科名：美術】

	現状分析	課題	具体的な方策
--	------	----	--------

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべきことに集中して授業に取り組むことができる。</li> <li>・ポイントを踏まえ、自分のオリジナルを創造することが苦手である。</li> <li>・コミュニケーションを取りながら楽しんで制作できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く考え取り組むことが苦手である。考える作業になると集中力を継続させることが難しい。</li> <li>・知識・技能を底上げすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間ごとに目標を明示しその時間にすべきことが明確になるようにする。</li> <li>・知識が理解できるよう、視覚に訴える説明を多くし、机間指導を増やす。</li> <li>・共有の時間を増やし、教え合える時間を作る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事にも興味・関心を持って取り組み、コミュニケーションを取りながら楽しんで制作できる。</li> <li>・自分の意見を物怖じせず言うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これでいい」が多く、計画を立ててそれを意識して制作することが苦手のため、即興的・なんとなくで終わらせることが多い。</li> <li>・知識・技能を底上げすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画性の大切さが感じられるよう、1時間ごとに目標を明示し、手順を重視した説明を行う。</li> <li>・知識が理解できるよう、視覚に訴える説明を多くし、机間指導を増やす。</li> <li>・共有の時間を増やし、教え合える時間を作る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に前向きにとらえて制作に取り組むことができる。</li> <li>・非常にまじめで、集中力がある。細部まで細かく制作できて丁寧である。</li> <li>・男女仲が良く、みんなでアドバイスしながら制作できる。良いところを褒める発言が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こだわって制作できるが、それゆえに時間がかかり過ぎることがある。</li> <li>・慎重なところがあり、偶然や勢いから生まれる美しさや良さを感じてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作前の考える時間（アイデアスケッチ）を増やす。</li> <li>・「なぜこうしたのか」という理由を重視したアドバイスをを行い、クラス内での共有の時間を増やす。それによって作品が深まり、生徒の思いに合うクオリティに近づける。</li> <li>・即興的な制作や鑑賞を増やし、偶然の良さを感じさせる。</li> </ul>

【教科名：保健体育】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。</li> <li>・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。</li> <li>・端末を活用する場面が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。</li> <li>・端末の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。</li> <li>・単元学習カードを端末からの入力にする。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。</li> <li>・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。</li> <li>・端末を活用する場面が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。</li> <li>・粘り強く取り組むようお互いのアドバイスを行うこと。</li> <li>・端末の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。</li> <li>・課題を明確にできるようタブレットやカードを活用する。</li> <li>・単元学習カードを端末からの入力にする。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。</li> <li>・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。</li> <li>・端末を活用する場面が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。</li> <li>・粘り強く取り組むようお互いのアドバイスを行うこと。</li> <li>・端末の活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。</li> <li>・課題を明確にできるようタブレットやカードを活用する。</li> <li>・単元学習カードを端末からの入力にする。</li> </ul>

			入力にする。
--	--	--	--------

【教科名：技術】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回の説明では理解しきれないことがある。</li> <li>・周囲へ助けを求められない生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い説明でも理解度を高める。</li> <li>・協同活動の意識付け。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器や実物を使った説明により、作業イメージをもちやすくする。</li> <li>・ペアやグループをつくったり、意見交換の場を設けたりする。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく話を聞き、発言も積極的である。</li> <li>・周囲へ助けを求められない生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能の底上げ。</li> <li>・協同活動の意識付け。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で復習や振り返りの時間を取り、知識の定着を図る。</li> <li>・ペアやグループをつくったり、意見交換の場を設けたりする。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的で活発な生徒が多い。</li> <li>・協同活動の意識が定着している。</li> <li>・作業進度にばらつきがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの充実。</li> <li>・ある程度進度を揃える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを次の授業でフィードバックするなど、つながりをもたせる。</li> <li>・進度の目安を明示し、遅れている生徒が進んでいる生徒へ助けを求められるような環境をつくる。</li> </ul>

【教科名：家庭科】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・知識の定着が不十分な生徒がいる。</li> <li>・指示や課題を一度で理解できず、取り組みに時間がかかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的、基本的な知識技能の定着。</li> <li>・分かりやすい指示と見通しをもたせた活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テストを行い、知識の定着を図る。</li> <li>・ICT 機器や振り返りカードを用い、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>・グループでの話し合い活動を充実させ、学び合える環境を作る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に意欲的に取り組むことができる。</li> <li>・知識、技能を活用し、表現する力が伸びてきている。</li> <li>・話し合い活動の時間が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、技能を活用する場面設定。</li> <li>・グループ活動の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活と結び付けた課題設定を行う。</li> <li>・グループ活動を増やす、多角的に思考できるようにする。</li> <li>・振り返りカードを活用し、見通しやできるようになったことを可視化できるようにする。</li> </ul>

3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・グループ活動で自分の意見をしっかりと伝えることができる。</li> <li>・端末の活用する機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しと振り返りの充実。</li> <li>・グループ活動の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてとまとめを意識させ、本時、題材の見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>・振り返りが次の学びにつながるように、工夫する。</li> <li>・グループ活動を増やし、多角的に思考できるようにする。</li> </ul>
----	---	--	---

【教科名：英語】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に意欲的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・小学校から「教科」として取り組んできたが、「書くこと」に関する経験が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を読んだり、書いたりする体系的な知識・技能の向上を図る。</li> <li>・クラスルームイングリッシュや日常生活の身近で簡単な事柄の聞き取りをできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、音韻と文字の指導を行う。</li> <li>・単元を越えて、反復学習を帯活動で取り入る。</li> <li>・「書く」時間を入れる、増やす。</li> <li>・適宜、聞き取りのポイントや視覚情報を提示しながら粘り強く聞き取る態度を育成する。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容によって多少差があるが、全般的に意欲的に授業に取り組んでいる。</li> <li>・標準学力検査の領域別集計結果では「話すこと」「書くこと」が全国正答率を大きく下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を表現する場面が少なく、英語よりも日本語でのやり取りが多くなっている。</li> <li>・テーマ別英作文や、スピーチなどの活動を増やし、表現力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なやり取りや文法、単語などの定着など、基礎・基本を徹底する。</li> <li>・聞いたら読む、読んだら話す、話したら書く、のように音と文字を往還させ技能統合を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に授業に取り組み、向上心が高い。</li> <li>・標準学力検査の領域別集計結果では「読むこと」と「書くこと」が全国正答率を下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習文法事項でつまずきがある点を、都度、補充し克服する。</li> <li>・語順や文型を視覚的に提示し、アウトプットの機会を増やし、表現力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を超えて、語彙・文法を使用する機会を増やす。</li> <li>・聞いたら読む、読んだら話す、話したら書く、のように音と文字を往還させ技能統合を図る。</li> </ul>
B組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーキング、リスニング等音声の活動に関して、大きな成長がみられる。</li> <li>・見本を参考に、学習した文法を用いた文章表現に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく学習した英単語の定着。</li> <li>・見本等がない場合の文章表現。</li> <li>・長文読解。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で繰り返し学習する機会を増やすとともに、カテ学における学習をさらに推進する。</li> <li>・単語→一文→長文のように、細部の学習から全体の学習につなげるようにする。</li> </ul>